

東京スター銀行は 『子供たちに学びの場を届ける活動』を応援します。 ～発展途上国に教育施設を設立する「Room to Read (ルーム・トゥ・リード)」の活動に賛同～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO: タッド・バッジ)は、発展途上国に学校や図書館などの教育施設を設立する「Room to Read(ルーム・トゥ・リード)」の活動に賛同し、同活動を支援することを決定いたしました。

「Room to Read(ルーム・トゥ・リード)」とは、マイクロソフトのエグゼクティブ職にあったジョン・ウッド氏が1999年末に創立した団体です。教育を得ることにより、子供たちが家族、地域社会、国、そして次世代の社会と経済をよりよくする力を身につけ、貧困が次の貧困を生む連鎖を断ち切ることができるという理念に基づき、途上国の現地コミュニティと協力し、学校や図書館、その他の教育施設を設立しています。

東京スター銀行では、ファイナンシャル・フリーダム(=お客さまをお金の心配から解放する)を企業理念として掲げており、**エデュケーション**(Education: お客さまへの金融知識を深めていただく機会を提供する)、**ソリューション**(Solutions: 単なる金融商品の提供だけでなく、お客さまの資産形成の目的や期間、目標額に応じた商品を提供する)、**パートナーシップ**(Partnership: お客さまの人生を通じた永いお付き合いをいただけるようお客さまとの信頼関係を築く)の「ESP」を通して、お客さま一人ひとりがお金の心配から解放されるためのお手伝いを行っています。

「Room to Read(ルーム・トゥ・リード)」の活動は、子供たちが成長する早期の過程で教育を提供することを使命とし、発展途上国の農村地帯における教育問題に持続性ある解決策を提供するとともに、援助対象となるコミュニティと一緒に継続的な支援活動を行うなど、まさに当行が掲げている「ESP」の理念とも合致するため、本活動への賛同を決定いたしました。

東京スター銀行では、これまでにも、世界各地で貧困に苦しむ人々に、非常に少額の事業用融資を行う機関に融資をすることで貧困の解消を目指す米国カリフォルニア州の非営利法人(NPO)、マイクロクレジット・エンタープライジズに対する融資枠を設定し、同NPOの活動に協力しています。また、国内においては、知的発達障害のある人たちへの社会参加を応援する、国際的なスポーツ組織であるスペシャルオリンピックスなどへも継続的に協賛を行っております。

東京スター銀行は、今後も国内にとどまらず、世界各地で「ファイナンシャル・フリーダム」の実現をお手伝いできるよう、さまざまな援助活動を継続的にサポートしてまいります。

「Room to Read(ルーム・トゥ・リード)」

途上国の現地コミュニティと協力し、学校や図書館をはじめとする教育施設を設立するために1999年末に当時マイクロソフトのエグゼクティブであったジョン・ウッドが設立した組織。世界約30の主要都市に「チャプター」と呼ばれる拠点を擁し、各チャプターをボランティア・ネットワークが支えている。現在、カンボジア、インド、ラオス、ネパール、スリランカ、ベトナム、南アフリカ等の国々で活動中。2020年までに1000万人の子供たちに教育の場を提供することを目指す。

ホームページ:<http://www.roomtoread.org/>